

## あごら

MINI

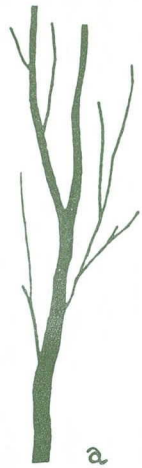
〈56号〉

1981年12月10日発行 ¥100 千40

- 何でも言える●何でも書けるミニ雑誌〈あごらミニ〉
- 小さな〈ひろば〉=AGORA・〈あごら〉
- あなたの声を待ってます。みんなで作る〈あごら〉

## AALA文化会議に出席して

高良留美子



わたしたちはアジア・アフリカ・ラテンアメリカの安い資源を使い、工業製品を売って経済を成り立たせているのに、そこにどのような文化があるかということになると、ほとんど何も知らないし、知ろうともしてこなかった傾向があります。十一月四日から四日間、川崎市でひらかれた「アジア・アフリカ・ラテンアメリカ文化会議」は、文化の共同発見をテーマに、AALAの人びととの民衆同士の直接交流をもとめたもので、各国から作家・詩人・演劇活動家など二十数人が参加しました。

わたしの出席した分科会「家族・男女・教育」では、

たとえばインドネシアには女性が実に生き生きと生きている文化があることや、中東のイスラームの価値観では、男女の関係が上下の関係ではなく神の前に平等な横の関係であることなどが報告されました。またラテンアメリカのマチスモ（伝統的男性優位主義）や、いぜんとして持参金制度などに縛られたインドの女性について知るとともに、日本国内での在日朝鮮人差別や、割礼と一夫多妻だけでアフリカの男女関係をおしはかるとこの誤りなどが指摘されました。多くの交流が行なわれ、また将来への課題をのこした四日間でした。

## 今月のなかみ

〈編集担当・事務局〉

表紙のことば AALA文化会議に出席して 高良留美子……1	「見る前に翔んだ」 あごら浦和映画会……2
「あごら浦和丸」ファン戦記……国井マツ江	反省材料をステップに……宗久知恵子
託児についての雑感……松崎由美子	へあごら大阪へ連絡先変更ほか……3
お知らせ 女のつどい・女の講座……4	

## 「出会いグループ」に来てみませんか

日頃あせりを感じる人、いらいらするけれども理由のわからない人、楽しくてしょうがない人、甘えたい人、心から話したい人、ともかく何かをやってみたい人、皆でいっしょに過ごしてみませんか。見知らぬ人との出会いの体験を通じて、心をゆたかにしてみませんか。参加した時から、あなたのグループです。

期間	1月6日(水)から8回
時間	毎週水曜 6時45分～8時45分
会費	八百円(8回通じて)
場所	あごら読書室
人数	10名ぐらゐ
申込	名前、連絡先を書いて左記の発起人まで、葉書でお申し込み下さい。
〒272	市川市菅野1-17-23
	佐野史都子
(電話の問い合わせは夜間のみ)	0473-23-4589

# 「見る前に翔んだ」

## あこら浦和映画会

■「八十七歳の青春」上映 ■81年11月3日 ■浦和コミュニティセンター ■一〇〇名の参加

〈あこら浦和〉の81年度のテーマの一つに「映画会開催」がありました。ラッギーにも、「八十七歳の青春」のフィルムを割安に入手、「コミュニティセンター」の借用料も半額にして頂きました。私たちの日頃の活動が実を結んだともいえるし、あこら事務局の尽力、貴重な奥の手を披露してくださったあこら九州のご好意など、数々のお力添えのおかげでもあります。発定「周年を迎えたあこら浦和」が自らの力を頼みず見切り発車した映画会。多くのことを学んだ「初体験」を披露します。

### 〈あこら浦和丸〉の戦記

国井マツ江

「取れたわよ」と大沢さんからの電話の声、思わず「ホント？ ヨカタア」と頬をゆるませながら受話機を置く。こうして私たちの映画を自主上映するという行動が開始された。映画会社と他の借り手との紆余曲折があり、上映日より一か月余り前の貸し出し決定だった。

その状況としては浦和に「Iデパート」が進出し、その人寄せにこの映画「八十七歳の青春」のタダ券を五百枚も配って上映したばかりという悪条件に加え、私たちの上映後のその月の終わりに、ある団体が五団体に協力を取りつけ、総動員して映画の上映に当たるはずという、まさに、前門の虎、後門の狼という中で、「あこら浦和丸」は出発した。総勢十人足らずの少数精鋭主義（？）、または人手不足という中で、いわゆる猫の手も借りたいくらいで、こまいが、我が家の猫を蹴飛ばしながら始まった。

十人の中から、さらに体力と気力とそれと比較的動きやすい状況にいたという四人が映画班になり、ある者は映画会社との交渉・契約を一手に引き受け、ある者は保育の保険契約または他のグループに券を売り込むというそれぞれの役割分担になった。ただマスコミ対策——これは華やかな芸能記者のように車で各ホテル等を回るといふか、こいものではなく——は昼、時間の余裕のある者は私だけということ、一人でオンボロ自転車にヨッコラショとまたがり、各新聞社の浦和支局を映画とあこらのチラシを持って回った。その時ペダルを踏みながら思わず

「やあると思えばあ〜」

どこまでやるさあ——

という唄が口に出た。女の意地だった。

その他、共同作業においては、子供連れで皆本当に頑張つて、ポスター作り、判こ押し等々、中には三人もお子さんを連れて奮闘してくれたママさんもいた。

おかげ様で当日は曇りになり、集合予定時刻にさつそうと仲間が、顔を緊張のため幾分赤らめながら現れた。皆で手順を決めテキパキ、モゴモゴと働いた末、映

写機が回り、市川房枝さんの顔が画面に写し出された時、人と共同作業の末一つのことをなしたという至福の喜びを味わった。

観客動員数百人余り——、これは我々各人の券の売り込みの努力の賜物というより、市川房枝さんの個人的魅力に負うことが多かったと、仲間とあらためて市川さんの大衆性には感服した。

ありがと——市川房枝さん。

### 反省材料をステップに

宗久知恵子

映画会の当日は、肌寒い日ではあったけれど、心配していた前日からの冷たい雨もどうやら上がってまずは一安心。午後一時半からの開演に備えて、あこら浦和のメンバーは、それぞれの役割に必要な荷物をかかえ、十時に集合、試写を開始した。いよいよ開演の時刻がせまってきたが、ポツリポツリと人は集まってくるけれど、百数十席ほど用意した椅子はなかなか埋まりそうもない。やっぱり

券の売り方がまずかったかな、お天気もあまりよくないし、連休で日も悪かったな、と会場を眺めながら矢継早に思いつくぐらしているうちに、それでも時間間際にはほぼ席は埋まり、何とか格好がついたようだった。

日頃勇ましい国井さんに似合わない緊張したあいさつのあと、無事映写がスタートした。市川さんの映画ということもあって中年の方が比較的多く、帰りを急がれたためか、こちらのPRが悪かったためか、映写後の感想を語り合う時間では身内の会という感じになってしまったのは残念であった。

映画の内容については、戦前から戦後にかけての市川さんを軸にした婦人参政権運動の歩みについて、ていねいに描かれてあり、また市川さんの運動にささげた情熱とその生き方は感動的であったというところが、大方の人の感想であった。また、戦争中の運動のあり方、当時の市川さん個人の戦争に対する姿勢などがさりげなく語られすぎていて、この問題についてもっと深く掘り下げるべきであったという指摘もあった。

ともあれ、私は思いがけず映画の幕切れが市川さんの死という形になってしまったのは、日本の婦人運動の一つの終わりを鮮烈に象徴しているような気がしてならなかった。女をとりまく状況が非常に見えにくく、したがって一つの運動へと広げていく力がなかなか育つていかない今日、これからの運動のあり方を思うと、ため息の一つもでてしまうのが実感である。



男性からも活発な発言が……

## 「あこら大阪」の 連絡先が変わりました

遠藤さんがアメリカから帰られ、左記のとおり連絡先が変更しました。

〒567 茨木市西駅前町10-323 遠藤由美  
☎0726-2333495

## 「あこら」忘年会は12月25日(金)

恒例の忘年会を「あこら読書室」で開きます。日ごろ「あこら」にあまり出入りなさらない方も、この機会にどうぞ。幻のエンターテイナーが続々登場(?)。ことしはカタイ話はやめてタノシークするそうです(?)。

## 託児についての雑感

松崎由美子

さて、「今年の「あこら浦和」は何か活動的なこともやってみよう」というかけ声とともに企画した映画会であったが、準備不足と初めての経験ばかりで、何とか赤字を出さずに終わったものの、反省材料だけはたくさん残ってしまったようである。市川さんの映画を運よく借りることができ、チラシやポスターも買ったとができて、本当はすいぶん楽であったはずなのである。しかし、今回の反省材料をこやしにし、エネルギーをためて、また何かをやれたらいいなと思っている。たとえそれがささいなことでも、恐れず何かをやることで、少しずつ自信がついてくるような気がする。

今回の映画会のおかげで、人目を気にしないで、電信柱にポスターを貼る自信がついたのは大きな収穫であった。

●じかん 6時30分—終電(?)  
(遅刻・早退可)

●ばしょ 読書室(地下鉄丸の内線「新宿御苑前」下車1分以内)近すぎるので通りすぎないようにご用心!

●でんわ 03-3544-9014

●おかね 1000円程度(たらふく食べて、たっぷり飲めます?)

## また一つ消える灯

### 『女エロス』終刊へ

ジャーシーン! 東西東西、東の姉さま、西の妹よ、さても『女エロス』17号(4月刊)をもつていよいよ幕引きと相成りました。急なる幕引き、理由は簡単、真実一路……売れねえんだ、赤字続きだった。

当日はすいぶん寒い日だった。映画会場脇に設けられたビニールタイル貼りの冷え冷えとした部屋に、何歳ぐらいの子どもが、どのくらいやってくるのか心配だったが、結果は、一歳の赤ちゃん一人、幼稚園前後の子五人の計六人で、何事もなく終わり、胸をなでおろしているところである。

今回の映画会を開くにあたって、どうして託児が必要か、という討論が事前になかった。女の集会という託児も半ば当然のこととして、段取りをつけてしま

てことよ。毎号一万部のうわさ、これ幻なり。女の力、はるかなり。『女エロス』女から女へ、心意気のかわらぬまわり十年、空を走り、空より落つ。地に落ち、地に蒔く。

またいずこよりか芽を吹きいでて、またの花を咲かせん、またの花をきそわん。(長い間ありがとございました。皆様と一緒にやってこれて楽しかったです)

\*

こんな挨拶状が来しました。残念です。本当に残念です。『ミズ・ジャーナル』に続いて『女エロス』おまえもか……。『赤字続きだ……』は、こちらも同じ「あこら」。北風が身に染みますが頑張りましょう。またの花をきそう日を祈って。

ったように思う。女の集会というとなぜ託児が必要になるのか。子どもを置いて出てこれる状況をそれぞれが作り出すべきではないか、など、貴重な意見も後に出されたが、そういった討論はもっと事前に話し合う必要があった。

私としては集会の際託児を設けるのは大賛成。主催が女であろうと男であろうと、人が集まるところに必ず託児がある、というのが私の理想だから。そのためには、託児の実績をどんどん作って、公的建物に託児室を設けさせたい。託児室があれば周囲の人の都合を気にせずに行動を決められるのがうれしい。

今回の託児にあたっては、万が一の事故に備えて保険をかけ、お菓子代込みで託児料は二百円としたが、この金額が妥当であったかどうかはわからない。一見細かいことのようにだが、こうした事柄は主催者側の感覚でなく、映画会にきた子どもを預ける人の側の感覚で考え、決めていくことが大切なのだと思う。託児については、今回の経験を大いに生かして、今後もキメ細かい対応をしていけたらと思う。

最後に、託児の応援にきて下さった「北東京へ柏へ日本はこれだいいのか市民連合」の三人の皆さん、本当にありがとうございました。

### 【編集後記】

映画会が終わってホッとする間もなく「あこら」25号の追い込み……。『ミニ』は今月号は4ページにさせていただきます。年間予算が苦しい反映でもありません。持統は力なりとやら、次々に消える「女の灯」の中で、せめて「あこら」は続けたい。カンパも大歓迎します!!(S)



# 〈女のつどい・女の講座〉

日	時	テ	マ	会	場
12月10日(木)13:30~17:00		〈日本心理センター月例公開講座〉カルチャーショック・講師：南博・佐藤悦子・角川雅樹・ロバート・マーチ			東京青山会館 03-401-8062
12日(土)13:00~		反戦・非核を訴えるデモ	〈日本はこれでいいのか市民連合主催〉		渋谷・宮下公園 問い合わせ 03-352-2784
13:30~16:30		〈婦人問題懇話会例会〉差別撤廃条約に関するウイナセミナーについて、条約15条・16条に関して 講師：笠原郁子			番町共済会館8階菊の間
18:00~21:00		私はこう思う——新聞などの主に家庭婦人欄を読んでの話し合い			渋谷勤労福祉会館 03-354-2543(藤村)
14:00~16:00		〈行動を起こす女たちの会〉離婚分科会			ジョキ 03-357-9565
13日(日)19:00~		〈あごら札幌〉例会・親睦会 会費3500円			大和家 011-241-0760
13:00~17:00		〈あごら浦和〉忘年会			問い合わせ 0488-87-3680(国井)
15日(火)18:00~21:00		日本はこれでいいのか市民講座 大島清「日本の農業に希望はあるか」参加費600円 〈日本はこれでいいのか市民連合主催〉			真生会館(信濃町) 03-351-7121
16日(水)		アジアの女たちの会'81秋期『女大学』「どこまで進む日本の経済進出、環太平洋構想とは何か」講師：北沢洋子 参加費500円			渋谷勤労福祉会館 03-462-2511
17日(木)13:00~16:30		婦人参政権獲得36周年記念集会 原爆記録映画「明日への伝言」、講演「平和憲法と反核運動」：山内敏弘			婦選会館 03-370-0238
19日(土)13:30~		〈あごら京都〉忘年会			塚崎宅 075-791-4623
13:30~19:30		総括集会 国際婦人年をきっかけに行動を起こす女たちの会 03-357-9565			新宿文化センター4階和室
15:00~20:00		戦争への道を許さない女たちの世田谷の会・PART I 各地の報告・交流・映画 PART II 聞く・食べる・のむ・語る 参加費1000円			世田谷区民会館集会室
11:00~14:00		〈あごら東海〉忘年会			連絡先 03-420-5780道原
20日(日)11:30~15:00		〈あごら大阪〉今後の方針について			鳥鈴
12:00~17:30		〈あごら九州〉例会「国際法について」小野敦子、「労働問題について」木村洋子			鈴木宅 0726-23-3495(遠藤)
13:00~17:00		『今戦争を考える』第3学習会 〈従軍看護婦の記録から〉講師：沖藤典子 連絡先 011-702-8753			婦人会館
		結婚の意味を問う継続討論 無料 03-354-2543(藤村)			札幌婦人文化センター 011-621-5177
23日(火)18:30~		〈あごら北東京〉忘年会			渋谷勤労福祉会館
18:00~		〈あごら京王〉忘年会・例会			婦人協同法律事務所 03-985-3308
18:30~		〈行動を起こす女たちの会〉労働分科会			じょあん 03-464-7163
25日(金)		〈あごら編集部〉忘年会			ジョキ
27日(日)12:00~		〈あごら柏〉例会			あごら読書室 03-354-9014
1月9日(土)13:30~16:30		家庭科の男女共修をすすめる会「教科書でいま男女平等はどう扱われているか」報告者・三井マリ子・村田康彦・仲野暢子			青木宅 0472-58-0138
14日(水)		〈私たちの男女雇用平等法をつくる会〉運営会議・新年会			婦選会館 03-370-0238
22日(金)18:30~		あごら25号合評会と新年会 〈あごら編集部〉			ジョキ
23日(土)13:30~17:00		〈日本心理センター月例公開講座〉日本人の日常的なコミュニケーション			あごら読書室 03-354-9014
					コープオリンピア集会室

## 各地のあごら連絡先

あごら旭川	旭川市神楽岡一条五丁目3 田代慶子
あごら札幌	札幌市中央区南25西12ニュー藻岩503 高橋芳恵
あごら仙台	仙台市青山1-13 三船照子
あごら浦和	埼玉県浦和市南浦和2-19 国井マツ江
あごら柏	柏市豊四季台3-1 68 古賀節子
あごら北東京	豊島区東池袋145 11 11 11 金子202 婦人協同法律事務所 志賀由美子
あごら武蔵野	小平市小川町1の7 63の8 6 丹羽雅代
あごら京王	調布市仙川町3-12 32 福井茂子
あごら神奈川	川崎市多摩区東生田2-2 12 森山方 沼田千恵子
あごら東海	愛知県愛知郡東郷町和合ヶ丘1-12 9 伊藤汎美
あごら京都	京都市左京区北白川久保田町36 4 塚崎美和子
あごら大阪	茨木市西駅前町10 3 2 3 遠藤由美
あごら九州	福岡市西区笹丘2-4 6 小島豊子